



奈良市と木津川市との連携・協力に関する包括協定について

1 経緯

- 奈良市及び木津川市は、古より歴史的なつながりが深く、現代においても鉄道等により地域的に結びついています。
- 近年では、平成27年の両市連携による大仏鉄道のパンフレットの作成やウォーキングイベントの開催等、主に観光分野において協力関係を深めてきています。
- 他方、将来の厳しい人口減少社会も見据え、公共施設・インフラについては効率化が求められており、将来にわたり持続可能なまちづくりは、両市共通の重要課題です。
- こうした状況の中、幅広い分野に対する取組をより効果的に推進していくため、両市の連携・協力関係を深めていくことを目的として、包括協定を締結することとしたものです。

2 協定の目的

奈良市及び木津川市が、主に次の事項等について相互に連携・協力を進めることにより、必要な都市機能及び生活基盤の効率的な確保を図るとともに、連携による相乗効果を生かして両市の更なる発展を目指します。

- 互いの持つ資源を生かした地域の活性化
- 教育や保育等の子育て面での連携
- 災害時の協力等による市民の安全・安心の確保
- 公共施設の効率的な利活用

3 主な連携・協力事項

(1) 多様な資源の活用によるにぎわいのあるまちづくり

- 鉄道、街道を介した地域間の連携、交流 E x. 幻の大仏鉄道等
- 両市の社寺等の地域資源を生かした観光の連携

(2) 災害対策などの強化による安全・安心のまちづくり

- 府県境で発生した事件等の情報共有、対応の連携
- 大規模災害時の避難所の相互利活用等、災害時相互協力体制の構築

(3) 教育や保育などの充実による子育てのしやすいまちづくり

- 両市の子育て情報・イベントの共有等、連携施策の検討

(4) 公共施設の効率的な利活用による持続可能なまちづくり

- 両市の所有する公共施設、インフラ等の効率的な利活用の検討

(5) その他

- 共同して実施する職員研修による両市職員の人材力の向上
- 両市が実施するイベントの情報共有、広報
- 学研都市のブランドを生かした共同事業の検討